

保健センター

☎37-5100 ①

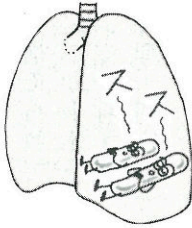
結核とその予防
(感染と発病)

結核に「感染する」ということは吸い込まれた菌が肺の奥に定着することです。体は侵入してきた結核菌と戦います。

その結果、様々な症状があらわれたら「発病した」といいます。

感染しても約80〜90%の人は症状がなく、他人にうつす恐れもなく一生発病せずに過ごします。

これらの人の感染した結核菌は死滅したのではなく、体の中で白血球の一種に取り込まれ、繊維の壁の中に閉じこめられた状態(仮眠状態)になっています。



1950年頃までの日本では、結核がまん延していたので、現在の60歳代以降の人ではその半数以上が感染者で体の中に結核菌が閉じこめられ

菌が仮眠している状態といわれています。

今後、体の抵抗力が弱ったときや、体力が衰えたときに結核菌が目をさまし、壁を破ってあばれだす可能性があります。

また高齢者以外でも、結核を発病しやすい人は次のような人です。

- 抵抗力が弱い乳幼児
- 糖尿病やその他の病気のための投薬などで免疫力が低下した人
- 生活が不規則で体力のないひとり暮らしの人
- 過激なダイエットによって、栄養のバランスがくずれ、体の抵抗力が弱っている若い女性

結核は昔のように死に至ることは少なくなりましたが発見が遅れると肺だけでなく、脳・リンパ節・腹膜・腸など全身に転移して重症化する

と死に至ることもあります。みなさんご用心を!



(早期発見のポイント)
もし、あなたが気づかず結核を発病し、結核菌をだしていたら、大切な家族はもちろん、学校、職場などで感染の危険をつくることになりま

● 結核の早期発見はなんといつても年に一回は胸のレントゲン検査をする。

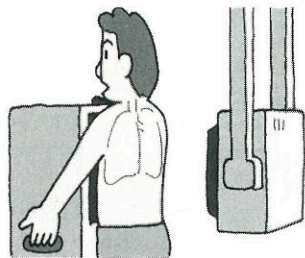
● かげがこじれたような状態で、咳や痰が続くときには、結核の検査を受ける。

● 高齢者の場合は、体重減少時に結核を疑ってみる。

● 早期に発見すれば、ほとんどが内服薬で治ります。

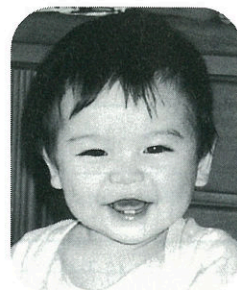
● 自分のため、そして大切な人につささないためにも、早期に発見し、予防することが大切です。

● 町では肺がん検診と同時に各地区に巡回して結核検診を行います。今年一度も胸部レントゲン検査を受けていない人は是非お受け下さい。



だいがお
だいすき

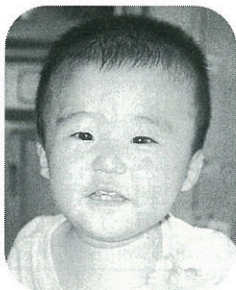
阿波 宏典くん



平成15年10月2日生まれ
秀範・ひろみ(上城)

どうやらあなたが我が家で一番のてんくらさんのようです。心豊かに育ってね。

岡藤 丈一郎くん



平成15年10月22日生まれ
真奈美(長行)
元気に育ってね。